

トップメッセージ ～新たな時代への挑戦～

私たちJR東日本グループは、発足以降、「鉄道の再生・復権」に取り組んできました。発足当初に比べ、鉄道の運転事故は半減し、新幹線をはじめとした鉄道ネットワークの拡充も進みました。また、サービス品質の向上などにより鉄道輸送量が伸びると同時に、生産性も向上し、さらに生活サービスやIT・Suicaなど、事業フィールドを拡げてきました。これらは、お客さまや地域の皆さまをはじめ、関係するすべての皆さまのご支援があったからにほかなりません。

「鉄道」起点から「ヒト」起点へ

私たちは引き続き、安全を経営のトッププライオリティに位置づけ、「究極の安全」を追求していきます。これにより、グループのあらゆる活動の基盤である、お客さまや地域の皆さまからの「信頼」をさらに高めていきます。

一方、さらなる人口減少や自動運転の実用化など、経営環境は急激に変化しており、これまでの延長線で発想・行動しては、変化に適応できません。これらの変化を先取りしていくため、グループ経営ビジョン「変革2027」のもと、「鉄道を起点としたサービス提供」から「ヒト(すべての人)を起点とした価値・サービスの創造」に「価値創造ストーリー」を転換し、新たな成長戦略を果敢に推進していきます。

私たちの強みは、社会インフラを支える重層的で「リアル」なネットワークと、その交流拠点となる駅等を持っていることです。技術と情報を中心にネットワークの力を高め、お客さまや地域の皆さまの「心豊かな生活」を実現していく決意です。

ESG経営の実践

私たちは、「変革2027」の達成に向け、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」も念頭に置き、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の3つの観点から成る「ESG経営」を実践し、事業を通じて社会的課題の解決に取り組み、地域社会の持続的な発展に貢献していきます。これらの取り組みを通じ、お客さまや地域の皆さまからの「信頼」を高め、JR東日本グループの持続的な成長につなげていきます。

具体的には、企業統治の観点から、安全がグループの経営のトッププライオリティであることをグルー

プ全社員の共通認識として徹底し、「究極の安全」に向けた実践的な取り組みをグループ一体で推進します。また、環境変化に合わせて、継続的にリスクを抽出・評価し、対策を講じてリスクを低減するとともに、現場第一線の社員との密接な意思疎通を通じてグループ内の実態を踏まえた施策を展開することなどにより、コンプライアンスの徹底を図ります。

その上で、さまざまな社会的課題の解決に向けて、鉄道の遅延防止や混雑緩和などのサービス品質改革に不断に取り組むほか、子育て支援や多様なお客さまへの対応、国際鉄道人材の育成、文化活動への支援などを推進します。そして、鉄道事業の2030年度環境目標である「エネルギー使用量25%削減」および「CO₂排出量40%削減」(ともに2013年度比)の達成に向けて、「省エネ」「創エネ」の観点から新技術を導入し、地球温暖化の防止に取り組むとともに、水素エネルギーの利活用など、エネルギーの多様化を図ります。

変化をチャンスに

JR東日本グループとして「ESG経営の実践」を徹底し、持続可能な社会を実現していく観点から、当レポートの名称を「CSR報告書」から「サステナビリティレポート」に改めました。

私たちは、新たな時代を見据え、グループ経営ビジョン「変革2027」のもと、変化をチャンスと捉えて挑戦を続けることにより、これからもお客さまや地域の皆さまのご期待に応えるとともに、地域社会の発展に貢献する企業グループとして持続的な成長を実現していきます。



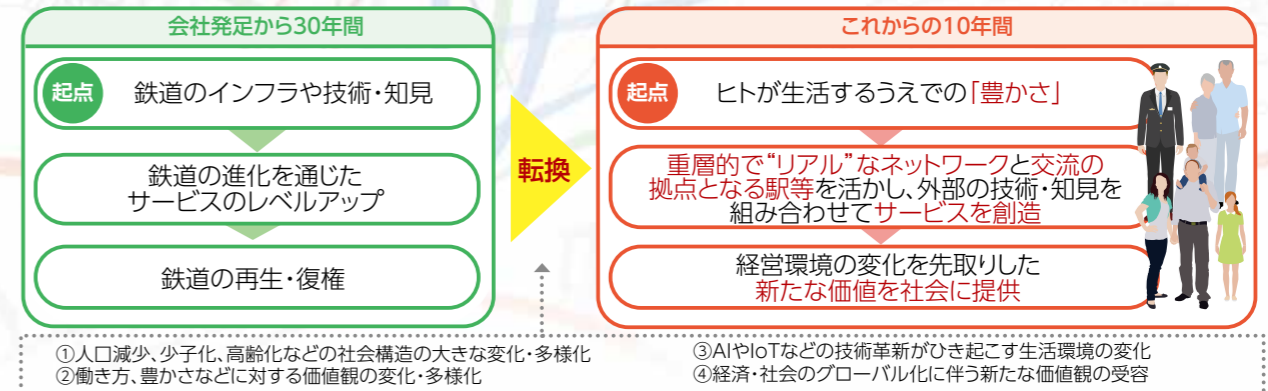
東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 深澤 祐二

JR東日本グループ 経営ビジョン 「変革2027」

2027年頃までの経営環境の変化を見据え、グループ一体で新たな成長戦略に挑戦するため、グループ経営ビジョン「変革2027」を2018年7月に策定しました。

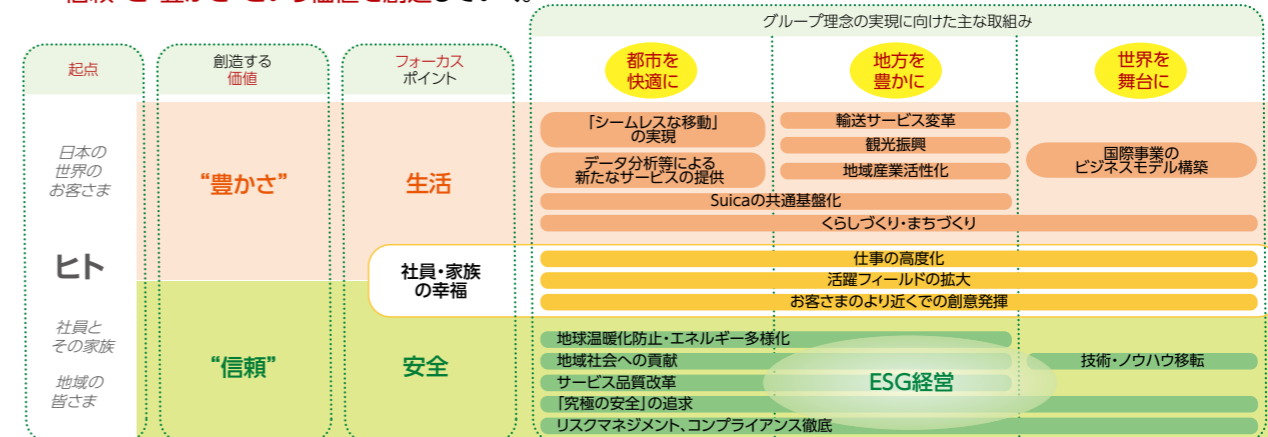
変革2027の基本方針

■「鉄道のインフラ等を起点としたサービス提供」から「ヒト(すべての人)の生活における『豊かさ』を起点とした社会への新たな価値の提供」へと「価値創造ストーリー」を転換していく。



変革2027の全体像

■「ヒト(すべての人)」を起点に「安全」「生活」「社員・家族の幸福」にフォーカスし、都市と地方、そして世界を舞台に、「信頼」と「豊かさ」という価値を創造していく。



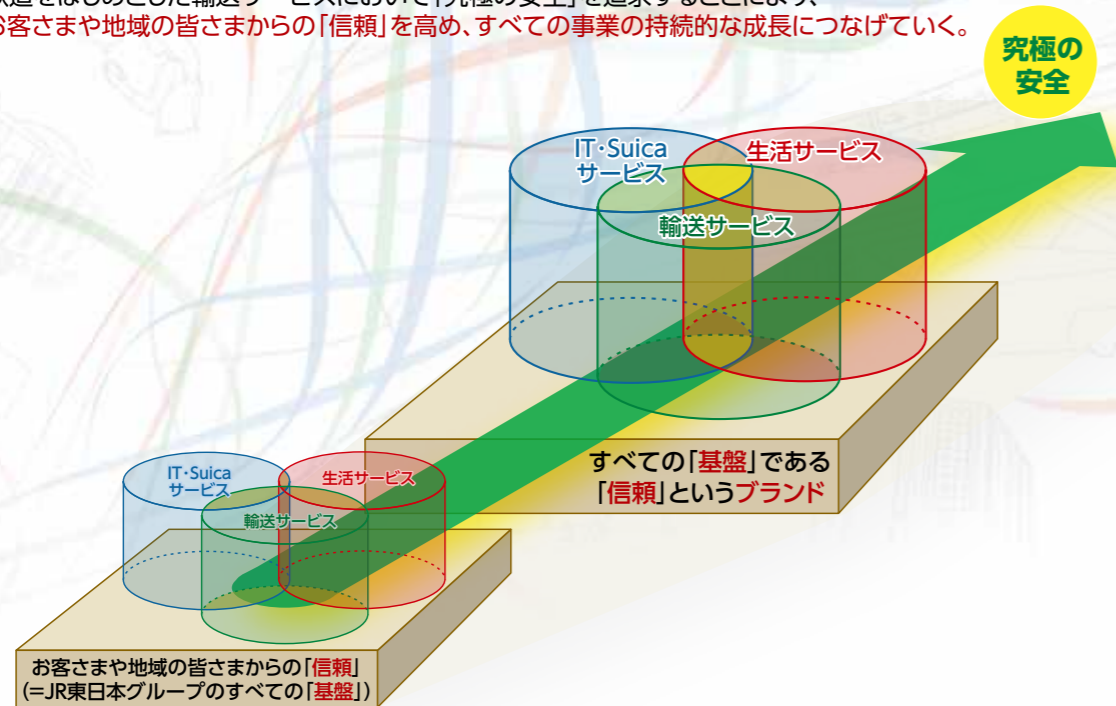
※ESG・・・Environment (環境)、Social (社会)、Governance (企業統治) の頭文字をとったもので、企業の持続的成長のための重要な要素

(参考) JR東日本グループ経営ビジョン「変革2027」と主な中長期ビジョン等との関係



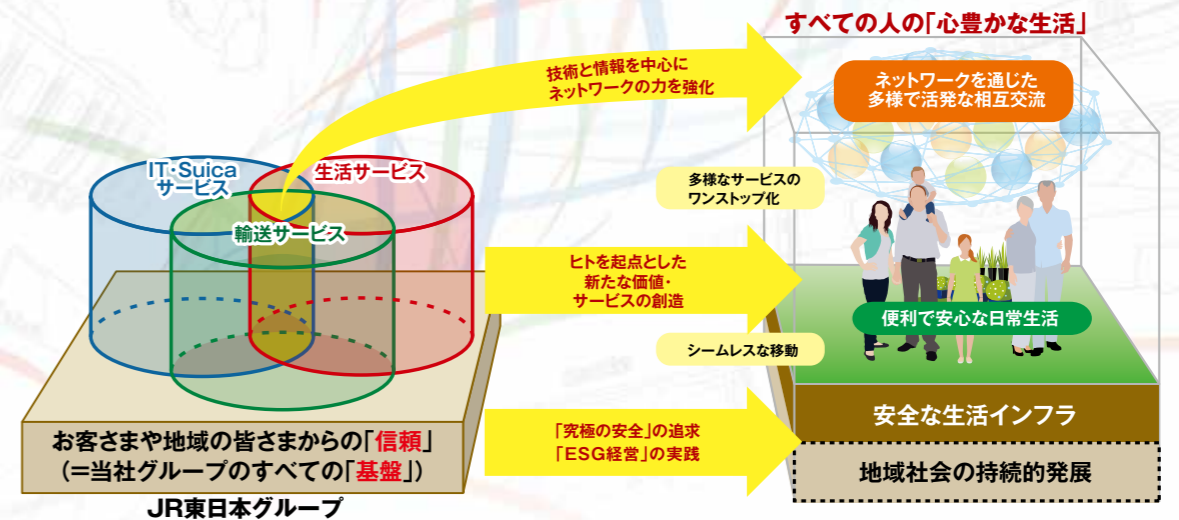
フォーカスポイント(安全)

- 鉄道をはじめとした輸送サービスにおいて「究極の安全」を追求することにより、お客さまや地域の皆さまからの「信頼」を高め、すべての事業の持続的な成長につなげていく。



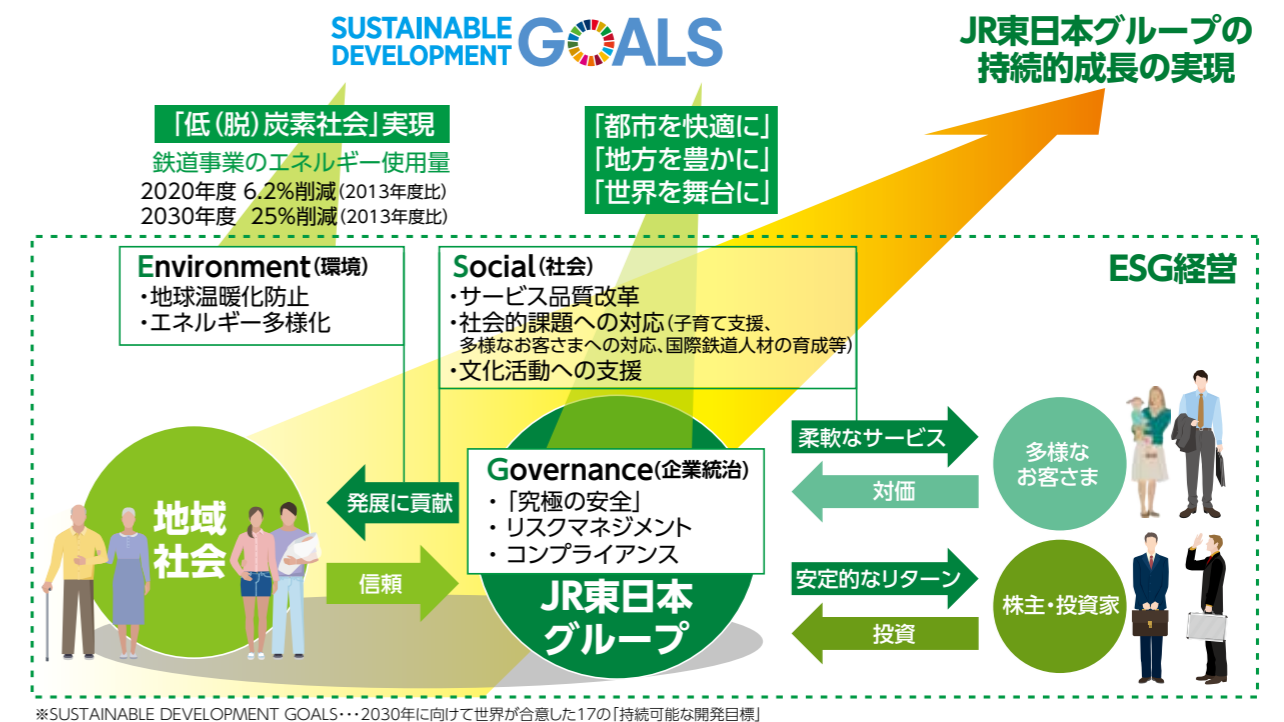
フォーカスポイント(生活)

- 「ヒトを起点とした新たな価値・サービスの創造」や「技術と情報を中心としたネットワークの強化」により、すべての人の「心豊かな生活」を実現していく。



ESG経営の実践

- JR東日本グループが事業を通じて社会的課題の解決に取り組み、地域社会の発展に貢献することにより、地域の皆さまやお客さまからの「信頼」を高め、当社グループの持続的な成長につなげる。



- 安全がJR東日本グループの経営のトッププライオリティであることを当社グループの全社員の共通認識として徹底し、グループ一体で「究極の安全」に向けた具体的な取組みを推進する。

